News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
NewRochelle, NY 10801
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成27年2月13日　No.21
発行責任者：校長　櫻井郁男

雪が降ると・・・雪かき、雪掃き、雪おろし

新入学受付時期になると、当日(土曜日)のお天気が気になります。

時期を早めれば、その後に受付ける方が増え、学級編成に支障をきたします。受付時期を遅らせた場合、降雪により「後がなくなる」こともあります。幼児部・初等部に限らず新入・転入の場合、多くのスタッフが、お子さんの日本語力や個性を把握しつつ指導法について検討しますので、受付の時期と天候には気をもみます。





さて、今日の雪についての話題は、日本国内の学校の様子です。

私は教員生活で1度だけ、雪のため連続2日間の休校を経験しました。東京都で僅か2校でした。(東京とはいえ山深い地域の学校もあります。)これは特異な経験で、国内では「雪が降りそう」ということでの特別な配慮をした記憶がないのです。

理由は、みな徒歩で登校できるからです。教員に対しても特別な措置はありません。出勤するのがあたりまえです。もちろん余裕がある教員は雪の予報が出ると気を利かせ、いつもより早めに家を出ます。

では、生徒はどうなのでしょう。

冬は寒稽古に取り組む部活動が多くあります。校庭系の部活動は、放課後はたちまち日没となり、練習ができないので、朝の基礎トレーニングで汗を流します。彼(彼女)等には、顧問から「30 分早めに登校」という指示が出ます。

雪が降りそうなのになぜでしょう・・・お分かりになる方は、日本文化(賛否は別)を理解なさっているといえます。

実は、雪の朝、部員は雪かき隊に変身するのです。生徒たちは靴下をびしょびしょにさせながら、せっせと雪かきをします。そして、赤いほっぺを上気させ、休み時間の雪合戦を楽しみにしつつ、学習が始まります。



写真は　野球部と吹奏楽部の子供たち



室内で活動する部活動の生徒も「放課後たくさんの教室を使わせてもらっているから・・・(部長談)」とのこと。きっとお礼のつもりで雪かきをしているのでしょう。

ニューヨークでは「あれこれは」「誰々の仕事」であり、不便・不快を極力なくす手立てが取られます。

歩道・車道には塩化カルシウムがまかれ、雪が止む頃には交通状態も改善されています。交通マヒによる経済的損失を食い止めること、安全や快適を求めること・・・いろいろな考えがあることでしょう。

心に留めておきたいのは、自然をありのままに受け入れる日本人の心情です。**(写真は東京多摩地区の中学校)**